

企画展「標本となった飼育個体ーのんほいパークだからできることー」 を開催します！

のんほいパークでは、当館学芸員と動物園職員（獣医師・動物研究員・飼育員）が協力して、死亡飼育個体から骨格標本や、はく製標本を作製し、調査研究活動や教育普及活動に活用しています。

本企画展では、これまでに作製した標本の中から、昨年 3 月に死亡したサーバルを含むネコ科動物の骨格標本を中心に展示します。

併せて、昭和 27 年（1952 年）に豊橋市石巻本町の採石場で発見されたトラの下顎骨化石（後期更新世^{※1}：約 13 万～1 万 2 千年前）を豊橋で初めて展示します。この化石は長らく所在不明でしたが、当館の安井謙介（やすい けんすけ）学芸専門員の調査により、昨年、栃木県にて所在が確認されました。

- 【期 間】 7 月 26 日（土）～ 8 月 31 日（日）
【場 所】 自然史博物館 イントロホール
【観 覧 料】 無料 ※豊橋総合動植物公園入園料が別途必要
【展 示 数】 約 20 点（トラ、ライオン、ヒグマの頭骨など）
【目玉標本】 ①サーバル頭骨
（個体名：ステル、性：メス、2024/3/4 死亡、7 歳）
②豊橋市石巻本町産トラ下顎骨化石

～ 関連行事など ～

- ① 豊橋市自然史博物館オリジナル「サーバル頭骨模型」を販売！
販売数：200 個、定価：1,500 円
※自然史博物館にて 7 月 26 日（土）から販売
- ② 解説会「世界トラの日^{※2}」記念 豊橋にトラがいたころ
豊橋で発見されたトラの化石やトラがいた時代の動物を紹介します。
日 時：8 月 2 日（土）13：00～13：30
場 所：自然史博物館 イントロホール
対象／定員：どなたでも
参加費：無料 ※豊橋総合動植物公園入園料が別途必要
申し込み：不要
講 師：安井謙介（当館学芸専門員）

※専門：脊椎動物学、古脊椎動物学、第四紀哺乳類学

豊橋にまつわるネコ科動物大集合！



【サーバルの頭骨（左）と頭骨模型（右）】

◆頭骨：長さ 128 mm、幅 84 mm、高さ 59 mm

◆頭骨模型：縮尺 2/3。素材：レジン樹脂。



【サーバル】

◆個体名：ステル ◆性：メス

◆2024/3/4 死亡、7 歳



【豊橋市石巻本町産トラ化石（右下顎骨：前後長 179+mm、背腹長 74+mm）】

経 緯

昭和 27 年（1952 年）、豊橋市石巻本町長楽（ながら）の採石場にて早稲田大学の学生であった清水辰二郎（しみずたつじろう）氏が発見。長らく所在不明であったが、安井謙介学芸専門員の調査により、清水辰二郎氏のご遺族が栃木県にて保管していることが令和 6 年に判明。既知の右下顎骨だけでなく、同一個体の左下顎骨の存在も明らかとなった。本企画展では左・右両方の下顎骨を展示。現在は、国立科学博物館（つくば市）が所蔵。

ポイント

- ①発見後、約 70 年ぶりに豊橋へ里帰り。愛知県（豊橋市）初展示。
- ②愛知県からは、本採石場からしかトラ化石は発見されていない。
- ③保存状態が良い日本のトラの下顎骨化石は少なく、当時の日本に生息していたトラの形態変異を検討する上で貴重な標本。

※1 更新世

地質時代の区分の一つで、約 258 万年～1 万 2 千年前までの期間。更新世は、前期（約 258 万～78 万年前）、中期（＝チバニアン：約 78 万～13 万年前）、後期（約 13 万～1 万 2 千年前）に細分される。

※2 世界トラの日（毎年 7 月 29 日）

2010 年に開催された世界トラ保護会議「トラサミット」において制定された、絶滅危惧種であるトラの保全への公衆の関心と支援を喚起することを目的した記念日。